



前回の広報うつのみやプラス「平成を振り返り そして令和へ(令和元年5月号)」に対して43人の市民の皆さんからご意見をいただきました。代表的なものを紹介します。

平成が終わり、令和がスタートする今、あなたは宇都宮市がどのようなまちになることを望みますか？

- ▼緑が多い素晴らしい街並みを作ってほしい。空き店舗が多くなっているので、大通りにセンスのある店舗が増えれば行きたい(今泉・70代)。
- ▼働く親を助けるため、学童施設を充実させないと、少子化社会の回復にはならない(睦町・70代)。
- ▼子育てのしやすさや住みよさは実感している。より良い情報提供が欲しい(宝木町・40代)。
- ▼高齢者が車を手放しても住みよい街になるよう、もっとバスを整備してほしい(富士見が丘3丁目・80代)。
- ▼よく通院するので、バスの本数が多いのは良い。近所から乗れるバスの本数を増やしてほしい(下小倉町・20代)。
- ▼LRTの導入やプロスポーツなどのイベント、夏の花火大会や宮まつりを盛り上げてほしい(中岡本町・30代)。
- ▼JR宇都宮駅・東武宇都宮駅と大谷など、観光地をつないだ交通手段があると、活性化するのではないか(山本2丁目・60代)。
- ▼楽しく子育てのできる宇都宮市になってほしい。公園など屋外スペースはたくさんあるのが良い。有料でもいいので、雨の日や暑すぎて遊具で遊べない時に屋内で遊べるスペースをもう少し作ってほしい。(富士見が丘・40代)。
- ▼なるべく災害のない平和な宇都宮市でありたい。地方都市ならではの街で、のどかな日々を送りたい。車のナンバープレートにミヤリーちゃんがいてくれると良い(下岡本町・50代)。
- ▼高齢者や子どもは送迎がないと遊びに行けないので、車のない生活を可能にしてほしい。買い物の際、帰宅する時に大きい荷物がある場合や風雨だと自転車では行けないので、交通の便を良くしてほしい(70代)。
- ▼地区市民センターや出張所、図書館などへ行ける自転車専用道路や市内スポーツ施設に行ける遊歩道を完備してほしい(瑞穂1丁目・70代)。
- ▼宇都宮市がいろいろな意味で「選ばれる街」になってほしい。また、職場を増やしてほしい。

前回の広報うつのみやプラス

1018947

「平成を振り返り そして令和へ」の概要



写真で見る宇都宮の平成史

市政では、平成8年に市制施行100周年を迎え、中核市へ移行。平成19年に「上河内町」「河内町」と合併し、北関東初の50万人都市となりました。

スポーツ・文化面では、平成2年の世界選手権自転車競技大会が契機となり、現在のジャパンカップ

サイクルロードレースに発展。平成28年に初開催した「3x3」国際大会は、今年11月にワールドツアーファイナルの開催が決定。また、平成30年には大谷石文化が日本遺産に認定されるなど、スポーツと文化が融合する魅力的な都市に発展しています。

交通面では、平成30年に芳賀・宇都宮LRT事業の工事施工認可を取得。2022年の開業に向け、さらなる発展が期待されています。

新たな節目 100年先も誇れるまちを目指して

本市では、100年先も誇れるまちを目指し、まちづくりの設計図となる「第6次総合計画」を策定しました。今後も、人口減少・人口構造の変化に対応できる持続可能な都市づくりを進めていきます。

広報うつのみやプラスや政策特集は、皆さんと一緒に考えていただきたいテーマを取り上げ、年に数回編集します。



料金受取人払郵便



差出有効期間
2020年8月
15日まで

【切手不要】

3 2 0 8 7 4 0

(受取人)

宇都宮市旭1丁目1番5号

(宇都宮市役所)

宇都宮市総合政策部広報広聴課

行



3 2 0 8 7 4 0

3

氏名	住所	
年齢	歳	職業

差し支えがなければ記入してください。広報紙で意見を紹介する際には、氏名の記載はしません。なお、はがきの情報については、目的以外には使用しません。